
もし、嘘についてしまったら

ゲーフィ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もし、嘘をついてしまったら

【Nコード】

N5404A

【作者名】

グーフィ

【あらすじ】

うそをついてしまったら・・・・・・・・・・

（前書き）

一生懸命書きました。
読んでもらえればうれしいです。

もし、嘘をついてしまったら、どうなるか、あなたは考えたことがありますか。

でも、誰しもが、嘘をついたことはあるでしょう。もちろん、僕も嘘をついたことがあります。

それでも、嘘をついたことで、不幸になることがあります。

嘘というのは、人を喜ばせたり、逆に悲しませたりします。自分の人生を壊してもいきます。

例えば、麻薬をやってしまったて、それがほかの人に見つかりそうになった時、正直に

「自分は麻薬をやっていた。」

と言うと、警察に捕まり、刑務所に入れられてしまうでしょう。

それでも、体から、麻薬の依存をなくし、刑務所から出てくることができます。

体は、麻薬をしてしまったせいで、悪くなつてはいますが、後の人生をちゃんと過ごすことができます。

しかし、もし嘘をつき

「自分は麻薬なんてやってはいない。」

と嘘をついてしまうと、周りの人たちからは見放され、自分は依存のせいで、麻薬をやめられなくなり、体が弱り、頭がおかしくなり、ついには幻覚までみてしまい、そして、麻薬のやりすぎで、死んでしまいます。

違う例で言いますと、遊んでいるときに、うっかり窓を割ってしまったとします。

「窓をわってしまった……どうしよう………逃げたしまおうか……」

と、大半の人は思うでしょう。

でも、勇気を振り絞って、窓を割ってしまったということを正直に謝れば、きっと許してもらえるでしょう。それに、怒られた後は反省をして、もう

「こんなことは二度としない」

と心に誓って、もう二度とこんなことをしないようにすることができます。

けれども、謝るのが怖くなり、その場から立ち去ってしまうと、いつかは窓を割ったことがばれてしまい、ひどく怒られてしまうでしょう。

怒られたあとも、怒った方も、怒られた方も、気分が悪くなってしまいます。

もう一つ、違う例を言います。

何らかの課題がでるとします。もちろん、宿題でもかまいません。そのときは、なんだかだるくて

「今日はだるいから、また今度にしよう。」

なんて事を考えて、その時は、課題をやらなかったとします。

もちろん、課題をしていないので

「やったけど家に忘れました。」

と言うでしょう。

最初の方は、「また今度やればいいや」と思い、課題をやらないと思います。

でも、それを繰り返していると、だんだんと課題の量がたまっている、取り返しがつかなくなってしまう。

結局は、嘘を嘘で塗り固めてしまい、後になって

「なんで、ちゃんとしなかったんだ」

と嘆くことになります。

だから、軽い気持ちで嘘をつくことは、絶対にいけないと僕は思います。

後になって必ず後悔すると思います。

（後書き）

どうでしたか？

感想を書いてもらえればうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5404a/>

もし、嘘をついてしまったら

2010年12月31日03時09分発行